一般質問（要旨）

スポーツの秋
（市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル2023）

ごみ処理施策・陸上競技場整備・在日米軍横田基地問題について

みらいネットワーク　青山 秀雄 議員

質問　市のごみ処理施策について、①現清掃センターの敷地は国土交通省河川局から借用しているが、将来にわたり継続して使用できるのか。②駅周辺はたばこのポイ捨てが多い。受動喫煙による健康問題への懸念も多いことから、駅周辺は全面禁煙にすべき。考えは。

答弁　①令和8年9月まで河川占用許可を受けているが、その後の占用更新についても遺漏なきよう、国に確認しながら進めていく。②たばこを吸わない人にも理解される喫煙マナーの向上に向け、ポイ捨て禁止の呼びかけなどの啓発活動を強化していく。

質問　スポーツ施策について、①駅から近く利便性の高い昭和公園陸上競技場を公式大会ができるよう、整備する考えは。②新春駅伝競走大会は伝統あるコースを復活し、幅広い市民が応援に集える大会にすべき。

答弁　①設備等多くの課題があるが、利便性の高い立地にあることから今後の在り方について検討していく。②大規模な交通規制が必要かつ事故の危険性が増しているため、交通管理者である昭島警察署の許可を受けることは困難性がある。

質問　横田基地内でのPFAS漏出事故について、防衛省は米軍から4年以上前に報告があったにもかかわらず都や周辺自治体に報告しなかった。現場と防衛省の信頼関係がしっかり築けているのか疑問だが見解は。

答弁　都と周辺5市1町連絡協議会では今回の件を受け、国においてより詳細な情報提供や地下水へ及ぼす影響の調査・公表等の必要な対応を行うことに加え、漏出等が判明した場合の速やかな情報提供を要請した。

美観と安全性を意識したまちづくりについて

自由民主党昭島市議団　小林 こうじ 議員

質問　美観と安全性を意識したまちづくりについて、①市内各所で見受けられるインターロッキング舗装は、美観として申し分ないが、水道等の地下埋設物工事後の補修をインターロッキング舗装に戻さない場合がある。理由は。②補修により段差が生じ、ベビーカー等が転倒する危険がある。段差を最小限にした補修工事への考えは。③江戸街道の植栽の雑草等が車道側にはみ出ており、処理が必要と考える。所見は。④昭島駅周辺の野鳥対策について、鳴き声やふん害への対策として、野鳥撃退器具等を用いた飛来防止策を行っては。

答弁　①復旧範囲が狭小の場合は、掘削部の大きさ等を勘案し、舗装方法の判断を行った上で許可している。②利用者の安全・安心を最優先に最適な復旧に努めていく。③雑草が一斉に繁茂する時期であるが、できる限り適正な維持・管理に努める。④抜本的な対策が見当たらない状況だが、引き続き調査・研究していく。

質問　人口増加傾向にある昭島市の今後の子ども関連行政について、住宅開発が盛んな青梅線沿線の北側には、若い世帯の入居が想定される。①保育所や学童クラブの定員不足が懸念されるが、将来予測と対応は。②公立学校の定員についての将来予測と対応は。

答弁　①保育所は事業者から整備の相談を受けており、年内にも方向性を示していく。学童クラブの予測は困難性があるが、多角的な視点で対応策を検討していく。②教室の転用により、学級数増への対応は可能と見込んでいるが、不足する場合には、校舎の増築等の検討が必要と考える。

一人も置き去りにしない教育の実現について

公明党昭島市議団　渡辺 純也 議員

質問　笑顔あふれるまち・昭島の実現に向けた取り組みについて、令和6年度の市制施行70周年と岩泉町との友好都市協定10周年の記念事業は市民と共に一丸となって、市民が一人でも多く参加でき、幸福感を得られ、笑顔になれる事業として行ってほしいと考える。市の考えは。

答弁　多くの市民の笑顔があふれる記念事業となることを基本とし、昭島ならではの楽しさを実感できる事業展開について、様々な角度から検討を進めている。

質問　こども誰でも通園制度について、国では来年度からモデル事業を拡充する予定であり、育児の孤立化を防ぐ取り組みが進められている。

答弁　類似の事業として一時預かり保育やちょこっと預かり保育を実施している。こうした既存の事業や各保育施設等との整合・調整などを図る中で、実施について検討していく。

質問　HSP・HSCについて、学校関係者や保護者への理解を深める取り組みを進めることで一人も置き去りにしない教育環境の整備ができると考える。①教員と保護者への周知・啓発の取り組みの進捗状況は。②周知・啓発の取り組みについて継続的・定期的に行うべき。考えは。

答弁　①各学校では校内委員会等を通じて適切な対応が図られるよう努めており、保護者からの相談ではスクールカウンセラーなどにより、個別の対応をともに検討し活かせるよう努めている。②今後もこれまでの取り組みを継続するとともに、更なる理解促進に資する取り組みを進めていく。

給食費無償化について

無会派　永井 みつる 議員

質問　給食費無償化について、①実現に向けたプロジェクトチームを作り、予算確保に向けた議論をする考えは。②財政的に厳しい多摩地区を経済的に支えてもらえるよう、市として正式に都へ要請していくべき。

答弁　①関係部署が緊密な連携を図り、横断的に議論する中で、方向性について検討していく。②学校給食費無償化へ向けた補助制度の創設について、東京都市長会等を通じて都へ要望している。

質問　学童クラブ待機児童対策について、福島学童クラブ地域でマッテマステーションが復活した。他の地域における待機児童解消対策について考えは。

答弁　マッテマステーションの増設を目指すとともに、他の待機児童対策についてする考えは。

答弁　まずはビブリオバトルに興味を持ってもらえるよう、指定管理者と協議し、検討していく。

質問　こども家庭庁や都の子供政策連携室の設置に準じた組織を設置する考えは。

答弁　児童福祉法の改正やこども基本法を考慮し、来年度を目途に検討していきたい。

質問　外国人支援について、恒常的に活動できる環境を整えるべき。市の考えは。

答弁　各団体に公平な活動場所を提供する必要性から、相互の理解と協力をお願いしている。引き続きどのような対応が可能となるか関係機関と検討していく。

質問　様々な年代の方が利用する図書館において、本の紹介の善しあしを競う大人のビブリオバトルを開催したい。

答弁　様々な手法を検討していきたい。

本会議において賛否の分かれたもの

件名 ＼ 会派名（）内は議員数 議長は含まれない	自由民主党昭島市議団 (6)	公明党昭島市議団 (4)	日本共産党昭島市議団 (3)	都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団 (3)	みらいネットワーク (2)	無会派 (1)	無会派 (1)	無会派 (1)	採決の結果
健康保険証の存続を求める陳情	×	×	○	×	○	×	○	×	不採択

3面下段より

健康保険証の存続を求める陳情を不採択とする委員長報告について

反対

日本共産党昭島市議団　大野 ふびと 議員

皆保険制度の土台となる健康保険証は、保険証の登録を行ったマイナンバーカードに一本化され、現行の保険証は廃止となる。新たに発行される資格確認書は申請が必要なため、障害者をはじめ、申請が困難な方などが保険診療を受けられないということが絶対にないように現行の保険証を存続させる必要がある。

さらにマイナ保険証の利用率が著しく低い中でもこれによる保険資格確認でトラブルが続出しているほか、資格確認書等を交付するためのシステム開発・改修など、新たな費用や事務負担も発生することになる。

保険診療が受けられないという人権侵害を許さず、市民や市の職員、財政に余計な負荷をかけないために、本陳情を不採択とする委員長報告に反対する。